

は ぐ く む

育 夢



深く考える子 思いやりのある子 強くたくましい子

令和元年12月20日（金）

冬休みの過ごし方について

寒冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に多大なるご支援とご協力をいただき衷心にて感謝申し上げます。

さて、明日から25日間の冬休みに入ります。冬休みは、子どもたちが長期にわたり学校を中心とした生活から離れる期間です。また、自然や人とのふれあいを深めて人間性を培ったり、学校生活では得がたい体験を積んだりする良い機会でもあります。その反面、開放感から、ややもすると生活が不規則になりがちで、問題行動や事故の発生が心配される時期でもあります。

つきましては、学校ではお子様が充実した日々を送り、けがや事故なく楽しく過ごせるように、「冬休みの生活」を使用して指導いたしました。ご家庭におきましても以下の点に留意してご指導いただきますようお願い申し上げます。

1 家庭学習の取組

(1) 毎日計画的に取り組めるよう励ましてください。

- ・学校での学びが継続できるよう、また、意欲的・計画的に学習に取り組めるよう配慮をお願いします。



2 健康・安全を第一に

(1) 規則正しい生活ができるようご配慮をお願いします。

- ・団らんの時間を設けるなど、お子様とのコミュニケーションを十分とるようお願いします。

(2) 食生活を含め、健康管理には十分注意をお願いします。

- ・「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけてください。
- ・「手洗い・うがい」の励行をお願いします。



3 安全のために

(1) 外出するとき

- ・目的、場所、同行者、帰宅予定時刻などを確かめてください。
- ・午後4時までには帰宅するようにしてください。（学童保育を除く）
- ・たくさん人が集まる場所へは一人で外出しないようにしてください。

◎ 不審者等に会ったりあぶない目にあったときは、ためらうことなく警察に連絡をしてください。（学校にも連絡をお願いします。）

□西興部駐在所 87-2408 □学校 87-2230

◎ あぶない目にあいそうになったら「子ども110番の家」に助けを求めてください。

◎ 「おかしをあげる」「〇〇を見せてあげる」「写真撮ってあげる」などと声かけてくる事例が多くあります。「いかのおすし」の徹底をお願いします。

【いか】行かない【の】乗らない【お】大きな声で叫ぶ【す】すぐ逃げる【し】知らせる

(2) 交通事故防止のために

- 横断歩道では、安全な場所で待ち、信号が青になってからもう一度安全を確かめて渡るようご家庭でもご注意ください。また、見通しの悪い雪山等からの飛び出しによる事故も多いのであわせてご注意ください。



(3) 冬季の屋外レジャー等による事故の防止

- スキーや雪遊び等を行う場合は、危険な滑走をしたり立入禁止場所に入ったりしないこと、施設でのきまりやマナー、健康状態等に十分留意してください。
- 道路の周辺や屋根の下、氷の張った湖沼や河川など危険が予想される場所には近づかないようにしてください。



4 その他

- (1) けがや病気をしたときは、学校または担任にご連絡ください。
- (2) 教育委員会主催の「朝活」が開催されます。予定を確かめ、指示に従って参加させてください。
- (3) 令和元年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)までは学校閉庁日となっています。この期間、教職員は勤務しませんので、緊急連絡が必要な時は、西興部村教育委員会(87-2501)までお願いします。
- (4) ツイッターなどの会員制交流サイト(SNS)を通じ、性犯罪などの被害に遭った道内の未成年者(20歳未満)が今年10月末で小学生5人を含む117人に上り、年別で過去最多を更新していることが、道警のまとめで分かりました。道外では、SNSで誘い出された大阪市の小学6年生の女児が栃木県で保護される事件が発生しました。スマホやパソコン・ゲームなどの情報機器を使うときは、下記の注意事項や別紙資料(「今、保護者ができること」内閣府)等を参考に、家庭でのご指導をお願いいたします。



① 相手の気持ちを考えて、コミュニケーションをとろう！

② 個人情報(写真を含む)はネットに載せないようにしましょう！

※特に自撮りの発信はたいへん危険です。友達や他人の情報の発信も同じです。

③ スマホやネットに夢中になりすぎないようにしよう！

* 使い方によっては、犯罪になることや犯罪に巻き込まれることも多々あります。スマホのみならず、ゲーム機なども含めインターネット利用に対しては、保護者の方の指導、管理の徹底をお願いいたします。

④ 他の人を傷つけたり、権利を侵害したりしないようにしましょう！

小中学生用リーフレット「スマホ時代の君たちへ」(文部科学省より)